

4年生で日本の音楽を題材にした研究授業が行われました。

「箏（こと）の音色や面白さを感じながら演奏の仕方を知ろう」というねらいのもと、学習が展開されていきました。本時では2面の箏が準備され、実際の音を聞きながら楽器の構造や、音の出る仕組みを子供たちに伝えていました。

本物の箏は2面しかないので、楽器を体験する順番が回ってくるまでは一人一台端末を用いて（バーチャルな箏を）体験しました。画面では「はじく」という奏法は使えませんが、構造を知り運指を経験するだけでも価値ある学びとなっていました。バーチャルと本物、双方の良さや特徴を使い分けながら活用していくことが大切だと実感しました。

